

IV 地域まちづくり方針

1 策定の趣旨

合併によって東西 30km南北約 40km、区域面積 552km²を有することとなった本市は、地形的な特性や歴史的な沿革、さまざまな市民生活の営みにより、生活文化や市民意識など社会的、経済的、文化的な特性を有するそれぞれの地域で形成されています。

住みやすく、質の高いまちづくりは、最も身近な生活の場であるこうした地域づくりから始まります。

この地域まちづくり方針は、上田市総合計画の一部として、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向を示すものです。したがって、内容的には行政活動だけでなく、市民が自主的に進める各種の地域活動や、市民と行政との協働によって実現していくべきものも含まれた、地域と行政の共通目標としての性格を持つものです。

2 地域区分と策定の手順

地域まちづくり方針の地域区分は、下記九つの地域協議会の区域としました。また、策定の手順としては、市長が各地域協議会へ諮問したうえで、基本構想・基本計画との調整を図り、上田市総合計画の一部として位置付けることとしました。

地域の名称	地域協議会	区 域
上田中央地域	上田中央地域協議会	東部・南部・中央・北部・神川地区
上田西部地域	上田西部地域協議会	西部・塩尻地区
上田城南地域	上田城南地域協議会	城下・川辺・泉田地区
神科・豊殿地域	神科・豊殿地域協議会	神科・豊殿地区
塩田地域	塩田地域協議会	東塩田・中塩田・西塩田・別所温泉地区
川西地域	川西地域協議会	川西地区
丸子地域	丸子地域協議会	丸子地区
真田地域	真田地域協議会	真田地区
武石地域	武石地域協議会	武石地区

3 構成

(1) 地域特性と発展の方向

地域まちづくり方針を定めるにあたって押さえておくべき地域の特性と、今後の方向性を概括的に示すものです。

(2) 地域まちづくり方針

上記発展の方向を具体化していくために必要と思われる主な取組を示すもので、市民、行政、更に市民と行政の協働によって実現していくべき共通目標として位置付けるものです。

4 期間

第一次上田市総合計画の基本構想と同様、8年間（平成20年度～27年度）とし、後期基本計画（平成24年度～27年度）の策定に合わせて見直しを行いました。

5 地域協議会への諮問と答申について

（１） 諮問の具体的内容

自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向を示す必要があるため、各地域協議会ごとに、前期基本計画の期間における地域の課題の変化や施策の進捗状況などを踏まえた上で見直しの検討について諮問しました。

（２） 諮問・答申の経過

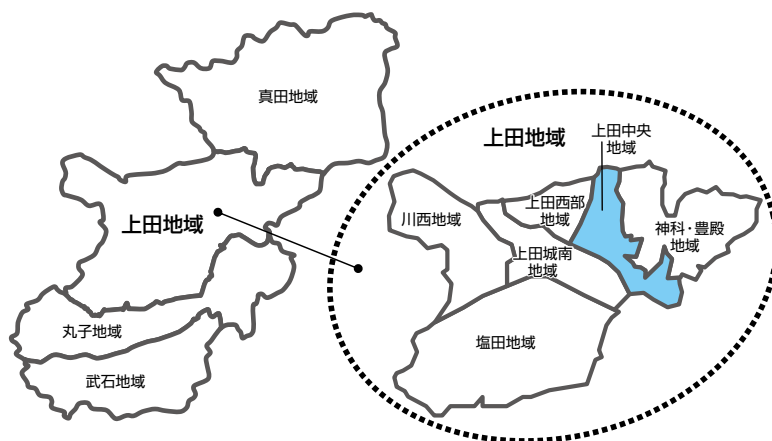
地域協議会	諮問	答申
上田中央地域協議会	平成22年9月29日	平成23年3月22日
上田西部地域協議会	平成22年9月24日	平成23年3月22日
上田城南地域協議会	平成22年9月22日	平成23年3月22日
神科・豊殿地域協議会	平成22年10月7日	平成23年3月22日
塩田地域協議会	平成22年9月16日	平成23年3月22日
川西地域協議会	平成22年10月18日	平成23年3月22日
丸子地域協議会	平成22年9月30日	平成23年3月22日
真田地域協議会	平成22年9月22日	平成23年3月22日
武石地域協議会	平成22年9月29日	平成23年3月22日



平成23年3月22日 9地域協議会が揃って答申

6 地域まちづくり方針

(1) 上田中央地域



ア 地域特性と発展の方向

上田中央地域は、上田駅を中心に市街地が形成された本市の玄関口となる地域です。また、上田城跡や信濃国分寺など上田市を代表する歴史的遺産を擁した市の中心地域です。市の玄関口としての都市機能の充実と市街地の活性化を総合的に推進し、歴史的資源や豊かな自然環境を保全・活用したにぎわいと交流の拠点にふさわしい、市民や来訪者が行き交うまちづくりを目指します。

また、大学との連携や市民との協働により、新産業の創出を展開します。



千曲川上空から見た中心市街地

イ 地域まちづくり方針

① 新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化

中心市街地を取り巻く情勢の変化に対応し、城下町の歴史を背景に形成され発展してきた中心商店街の賑わい創出と、JT開発地と融合した新しい中央地域の将来像を形作っていくことが必要です。

住む人と訪れる人とが、豊かで快適な時間を過ごせる中心市街地を形成するため、居住

満足度を高め、上田駅周辺を拠点とし地域内外の交流を促進する整備の在り方を研究し、市街地の活性化と商業・観光の振興を一体的かつ総合的に推進します。

また、都市環状道路や上田駅を基点とする交通網などの基盤整備を行うほか、市街地内の回遊性向上を図り、歩きたくなるまちづくりを推進します。

更に、地域内の振興のため、公共施設の立地を図るとともに「街なか」居住の推進と、

住民や事業者の連携・交流による地域活力の向上を図ります。

②歴史遺産との融合・調和を図るまちづくり

上田城跡公園、国分寺史跡公園、北国街道など数多く残る歴史遺産の価値を再認識し、観光振興に生かすとともに、こうした遺産との融合・調和を図るまちづくりを進めます。

また、歴史的文化遺産ともいふべき、旧町名についての認識を深め、地元住民の意見を聞きながら、後世に残す地域づくりを進めます。

③すべての人々にとって安全・安心なまちづくり

すべての人々が安心して行き交える街づくりを進めるために、地域住民を中心に交番や防犯関係団体、ボランティア、PTAなどの連携と絆を深め、住民の安全意識の高揚を図り、地域ぐるみの安全体制づくりを推進します。

④自然環境の保全と共生によるまちづくり

千曲川をはじめとする神川、矢出沢川などの水辺空間や特色ある景観である染屋台の斜面樹林などの河岸段丘を保全し、豊かな自然を活用した地域づくりを進めます。

また、花と緑があふれる歩いて楽しい空間の創造に努めます。

⑤保健・福祉・医療活動の拠点整備と人的資源の活用

少子高齢化社会に対応した保健福祉施策や子育て支援施策の推進、また市民が安心して暮らせる医療体制や介護体制の整備など、あらゆる世代の健康増進や地域福祉施策等を推進し、上田市全体の保健・福祉・医療のネットワークを充実させていきます。

また、子どもがのびのびと成長できる、高齢者・障害者にやさしいまちづくりを進めるとともに、住民との協働による福祉活動を推進します。

⑥地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくり

少子化が進むなか、地域で子どもを育てるという視点も含め複雑多様化する地域課題を適切に解決していくため、住民・各種団体・

行政の協働による新たな地域づくりが必要になっています。

また、自治会をはじめとした地域コミュニティへの参加が重要な課題であり、各種団体、個人などが各種地域課題への解決に向けた対応や生涯学習などへ積極的に参加できるよう支援するとともに、人材発掘・人材育成・防災対策にも取り組み、共助、協働による地域づくりと地域住民が誇れるまちづくりを進めます。

⑦産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興

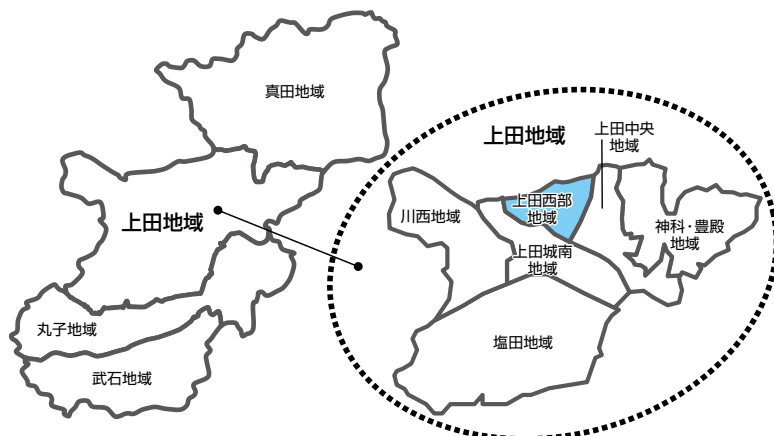
産学官連携支援施設との連携を通じて、大学や市民などとの協力体制を強化するとともに、新技術・新産業創出に向けた取組を展開するほか「地産地消」を推進し、近郊農業の生産意欲の高揚にも努めます。

また、農民美術、上田紬や蚕都上田として栄えた歴史的文化に触れながら、地域に伝わる伝統工芸の振興と後継者の育成、技術の継承を図ります。



信濃国分寺三重塔（国重要文化財）

(2)上田西部地域



ア 地域特性と発展の方向

上田西部地域は、太郎山山系から千曲川に広がり、中心を国道と鉄道が通過しています。歴史的建造物や閑静な住宅地、中小の商店や工場、卸団地などが田園空間に混在する地域です。快適な住環境を創出するとともに、世代を超えた連携による防犯力や子育て力などの地域力を高めます。

また、住民を地域全体で支え、だれもが安心して暮らせる人に優しいまちづくりを進めます。更に、恵まれた自然環境や歴史的遺産などを保全し、住民のコミュニケーションを図りながら、住民参加によるまちづくりを進めます。



塩尻の蚕室造りの家並み

イ 地域まちづくり方針

①西部公民館をコミュニティ活動拠点として整備し、地域が主体となったまちづくりの推進

地域住民が主体となったまちづくりのため、自治会、各種団体や地域協議会などの連携と行政との協働を推進します。

このため、地域のコミュニティ活動拠点として、生涯学習をはじめ異世代交流、子育て支援の場としての機能の整備・充実や、地域防災拠点施設の併設についても検討し、老朽化著しい西部公民館の早期建替えに向けた取

組を進めます。

②歴史的遺産等の積極的な活用による地域の振興

西部地域には、北国街道、東山道の歴史を伝える街並みや、蚕都の名残りをとどめる蚕室造りの家並み、また真田氏ゆかりの史跡など、歴史的な財産や資源が豊富にあります。

しかし、こうした地域資源が、老朽化や取り壊しによって失われつつあることから、住民自らが地域の歴史を知ることを通じ、住民参加により、できるだけ以前の姿で後世に継

承することが重要です。

このため、地域資源の調査を行い、必要なものの保全を図るとともに、観光資源につなげていくなどの利活用を推進します。

③地域が誇れる自然環境の保全、整備と有効活用

太郎山や虚空蔵山、千曲川や矢出沢川などに囲まれた、自然あふれる里山と住宅地とが調和した景観に恵まれています。

矢出沢川沿いの遊歩道、公園、北国街道、歴史の散歩道などを生かしたトレッキングコースを設定し、新たな観光資源の創出や健康づくりなどへ活用します。

また、山林、里山や水辺環境、公園・緑地など、自然とのふれあいの場を整備し、自然との共生と自然を生かした地域の活性化を図るとともに、地域の防災機能と災害対策の整備・強化を図ります。

④地域防犯力を生かし、安全で快適なまちづくり

「児童みまもり隊」や「はぐくみ隊」等、先進的な取組と実績を生かし、地域・行政・警察などとの連携により「地域防犯力」を高め、「温かいまなざしが深まる地域」として、安全に暮らせるまちづくりを推進します。

また、「あいさつの飛び交う地域づくり」を進めるとともに、住民参加による花づくりや緑化、幹線道路の渋滞解消や周辺道路の安全対策、また、きれいな水と空気など、より良好な地域生活環境の形成を目指します。

⑤多様な地域の資源を活用し、将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり

子どもが自然に親しめる環境を整備し、自然に親しみ、郷土の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りを持てる子どもたちを育てます。

また、地域の行事への参加などを通じ、ふれあいの中からの学びを大切にします。

更に、「地域子育て力」を高め、子どもたちの明るく元気な声がまち全体に響き渡り、子どもがたくましく生きるまちづくりを進めます。

⑥世代間交流が活発に行われ、コミュニティの確立を目指すまちづくり

今後ますます、少子高齢化の進行や、核家

族化・単身家庭の増加が予想される中、住民の共助により地域の課題を解決することが重要です。

学習会・講演会やスポーツ、遊びなどを通じ、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流を深め、住民自治の推進及び「地域連帯力」の向上とコミュニティの活性化を図ります。

⑦地域が一体となり高齢者や障害者を支え、だれもが安心して暮らせるまちづくり

上田市立産婦人科病院、信州上田医療センターなどの医療機関の充実に向けた施策を展開することが重要です。

自治会をはじめ NPO やボランティア団体などを核として、住民と関係機関との協働により更なる福祉活動を展開します。

また、高齢者や障害者を地域全体で支え、だれもが健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

⑧地域の特色を生かした産業の振興

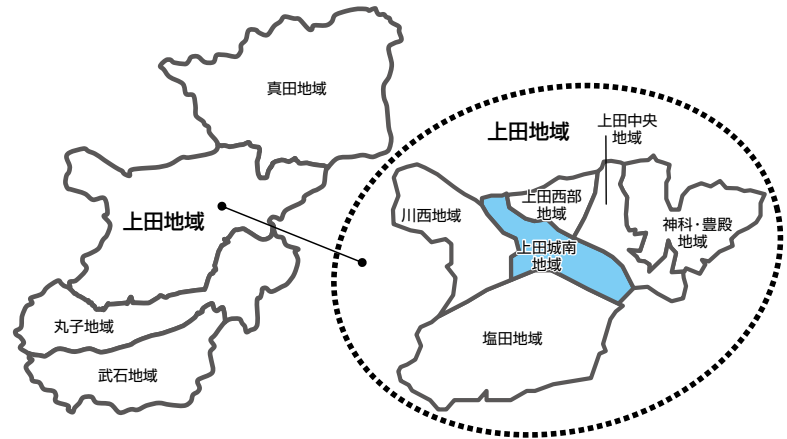
地域に根ざした伝統工芸や地場産業の振興や商工業の発展と高齢者や障害者などへの対応を視野に、日常生活に必要な地元商店の振興にも取り組みます。

また、農地の有効活用を進め、地産地消を推奨し、行政、生産者や各種団体が協力し合い、農業生産活動を地域ぐるみで促進します。



整備された太郎山・虚空蔵山間のトレッキングコースを歩く

(3) 上田城南地域



ア 地域特性と発展の方向

上田城南地域は、国道 143 号、主要地方道上田丸子線、都市環状道路、更には上田電鉄別所線が通り、農地と新興住宅地が混在した地域であり、幹線道路の整備に伴い、商業施設などの集積と宅地化が見込まれます。

地域振興・地域防災の視点により、安全性に配慮した交通機能の整備と医療、福祉サービスの充実を促進し、地域ぐるみで子育てを支える地域コミュニティ意識の更なる醸成を基本とした、持続的に発展するまちづくりを進めます。

また、歴史的遺産や原風景の残る里山、豊かな自然や農地を保全し、後世に継承します。



千曲川上空から見た「上田 道と川の駅」

イ 地域まちづくり方針

① まちづくり活動拠点の整備と住民が主体となった地域づくりの推進

城南公民館を、地域住民の主体的な活動を支援し、住民や活動団体による地域づくりの実践の場となる「まちづくり活動拠点」と位置づけ、整備・活用を図ります。

また、地域力の向上と、地域住民が抱える課題に対する協働の取組を推進し、地域コミュニティ拠点として地域の豊かな人間関係と住民活動を支えます。

② 「上田 道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり

広域的な交流拠点となる「上田 道と川の駅」の賑わいの創出と、そのために必要な施設整備を推進するとともに、都市間の連携の強化を目指し、広域幹線道路網や地域外との交流を促進する道路整備と公共交通網の整備を推進します。

また、持続可能な地域づくりを推進するため、周辺自然環境との調和を図りながら、地域の PR と情報の受発信源としての機能や

地域防災機能を併せて整備します。

③人や自然にやさしい交通機能の整備

国道143号や主要地方道長野上田線の近接地域は、周辺住民の生活支援機能を保有する商業ゾーンであるとともに、広域的連携機能を有した地域でもあり、交通量の増加が見込まれます。

国道143号や周辺道路の機能強化に加え、子どもやお年寄りなどの交通弱者の安全性や快適性に配慮し、泉田・小泉統合保育園のアクセス道路を整備するなど地域住民が安心して暮らせる生活環境の確保を図り、他地域との連携のもと、やさしいまちづくりを進めます。

また、地域交通の要となる上田電鉄別所線の利用を促進し、別所線沿線や駅周辺駐車場などの整備を進め、地域住民の利用や観光の振興を図ります。

④地域医療体制と保健福祉施設の整備

城南地域は、上田市の中でも宅地化や人口の集中が進んでいる地域であり、総合的な福祉及び保健・医療サービスの提供が求められています。

全国的な医師不足の状況下において、医療提供体制を確保するため、医療機能の役割分担と連携を推進し、現有する施設も有効に活用しながら、安心して医療が受けられる体制づくりの促進と保健福祉施設の整備を図ります。

⑤地域で子どもを育てるまちづくり

住民の協働により、地域ぐるみで子どもの

安全と成長を支えていくため、児童館、児童センター、児童クラブ、学童保育所の整備改善を進めます。

また、子育ての不安解消や子どもを育てる力の向上を図る相談の場などの子育て支援拠点整備を目指します。

さらに、核家族化の進行やひとり暮らしが増え、家族や住民同士のつながりが疎遠になっていく時代の中、家族の大切さを見つめなおし、家庭、地域、学校が連携し、互いの顔が見えるやさしい地域づくりを進めます。

⑥自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全

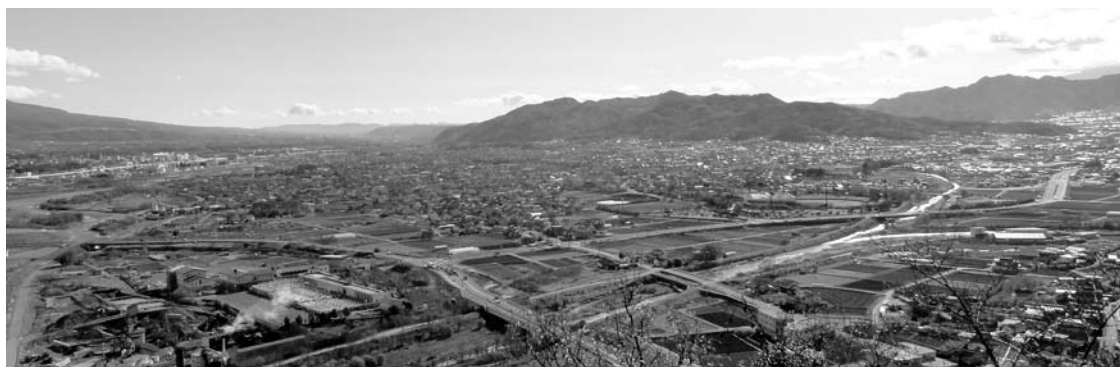
この地域は、住宅地、農地、里山が混在し、千曲川をはじめ産川や浦野川、須川湖、また小牧山や倉升山、半過岩鼻などの豊かな自然に恵まれています。宅地化が進行する一方で、優良農地が保全されている地域もありますが、年々遊休荒廃地が増え、様々な弊害が生じてきています。

現有する優良農地を保全し、荒廃地の有効活用を図り、人と自然との調和したまちづくりを目指します。

⑦歴史的・地域的資源の保全と活用

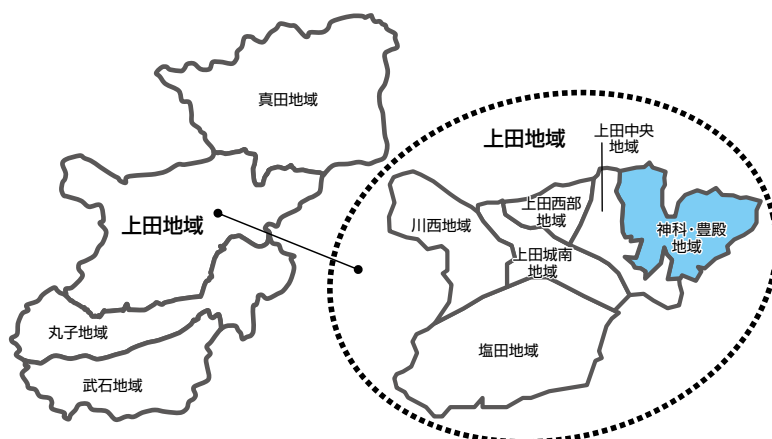
この地域には、各地区に残る神社仏閣や指定文化財、蚕室造りの民家、更には戦国時代の武士(もののふ)の夢の跡である上田原合戦地など、数多くの歴史的遺産があります。

これら「地域の宝」である貴重な遺産に触れる機会を作ることで、大人も子供も郷土に誇りを持ち、いきいきと生活できる地域を目指します。



上田原古戦場跡

(4)神科・豊殿地域



ア 地域特性と発展の方向

神科・豊殿地域は、上信越自動車道上田菅平インターを中心とした、新市の玄関口となる地域です。また、国や県道・浅間サンラインなど広域的に地域間を連絡する幹線道路網の結節点に位置しています。

本地域では、広域的な交通機能の充実を図り、地域にある自然や景観を大切に、貴重な資源を活用しながら、子どもから高齢者まで安心・安全な住みよい地域づくりを進めます。



玄蕃山公園から見た神科・豊殿地域

イ 地域まちづくり方針

①地域の交通ネットワークの整備促進

上田地域 30 分（サンマル）交通圏構想の実現のため、広域的な地域間連絡道路である国道 144 号の一層の改良促進と国道 18 号上田バイパス第 2 期工区先線の整備促進、県道下原大屋停車場線・小諸上田線・矢沢真田線の改良促進及び上信自動車道の整備促進に向け、地域住民一体となった運動を展開します。

また、安心・安全な住民生活の利便性向上

を目指し、幹線道路網整備に併せて地域内道路の整備に努めます。

②地域の公共交通と、将来に向けた地域循環バス等新たな地域内交通の充実

新市の公共交通活性化プラン策定に併せ、地域内交通の再検討を行うとともに高齢化社会に対応するため、地域のニーズに即応した公共交通の在り方を研究し、地域内交通の充実に努めます。

③地域に根ざした医療・福祉の充実と地域内ボランティア活動の充実

高齢者や障害者を含め住民が安心して生活できる地域づくりを進めるため、地域内の福祉施設や医療機関との連携を図るとともに、地域住民の主体的な意思によるボランティア活動を展開し、地域住民を地域住民全体で支える福祉の視点に立ったまちづくりへ積極的に取り組みます。

また、高度医療施設の更なる充実に協力し、地域と行政が連携して周辺地域も含めた地域内の医療提供体制の構築に努めます。

④神川河川流域の保全整備

豊かな自然景観と水の恵みをもたらす神川は、文字どおり「神の川」であり、地域の貴重な財産として、後世に大切に残す必要があります。

地域住民自ら水質浄化に努め現状を検証し、地域の子どもたちが安心して自然に親しめる環境にするため、親水的な施設整備を目指します。

⑤地域の子どもの安全と育成活動の充実

地域の子どもたちがのびのびと安心して活動できるよう「こどもを守る安心の家」や「見守り隊」など地域ぐるみの防犯体制を確立し、併せて通学路の街灯や歩道の整備促進を図ります。

また、地域と家庭、学校の連携により、心身とも健康で感性豊かな子どもに育つよう、地域の子ども育成活動を積極的に推進します。

⑥地域の農業振興と地域内の財産・資源の活用

適地適作を推進し、特色ある農業振興を図るため、農業後継者の育成や新規就農者の受け入れを推進し、地域の優良農用地の遊休荒廃化を防ぎます。

また、「砥石米山城跡」や「稲倉棚田」、「麻蒔リンゴ園」など魅力的な地域の財産や資源を大切に、体験と滞在型の観光客誘致に努めるとともに、地域の秩序ある土地利用を図るため、協働により利用計画の研究を進めます。

⑦市民の森・わしば山荘の利用促進

市民の森公園は、森林浴から各種スポーツ

まで多様に親しめる施設として上田市民に利用されてきました。

豊かな自然環境の中で健康維持や健全な心身の発達に寄与する公園は市民生活に不可欠ですが、現状は建物・設備の老朽化などにより、利用者が減少しています。

このため、市民協働により利用促進を図るとともに、わしば山荘の改修など施設整備を推進し、市民はもちろんのこと農山村留学や棚田オーナーなど都市農村交流にも活用できる機能強化をめざします。



砥石米山城まつりでの「白米伝説」の再現

(5) 塩田地域



ア 地域特性と発展の方向

塩田地域は、数多くの史跡・文化財の集積、塩田平の田園風景、更には別所温泉、と豊富な資源に恵まれています。

豊富な資源を見つめ直し、貴重な財産を生かしていくために観光を始め農林業等多様な産業間の連携や地域内外の交流を促進し、歴史・自然・生活が調和した交流拠点のまちづくりを進めます。



パノラマ展望台から望む塩田地域

イ 地域まちづくり方針

①地域コミュニティ施設の活用

地域自治センターは、市役所の支所機能に加えて、自治会や地域内各種団体が集い、まちづくりを推進するための拠点としての機能を併せ持つことを基本に、塩田地域自治センター・塩田公民館などの機能を含めた複合施設を、地域に密着した親しみやすい活動拠点施設として有効に活用します。そのため、住民の意見を大いに取り入れ広報等にも力を入れます。

②地域特性を生かした観光の推進

塩田地域は、悠久の歴史と文化、美しい自然と素朴な農村風景など、多くの観光資源に恵まれています。これらの観光資源をより生かすために、別所温泉を基点とした史跡や文化財を結ぶ循環道路の整備、点在するため池を巡るコースや札所めぐり等の遊歩道の整備、更に景観に配慮した案内看板や観光ボランティアの育成など、観光ルート・案内体制の整備を進め、国内外に向けた心の安らぐ観光地の実現を目指します。

また、地域の足であるとともに、重要な観

光資源でもある上田電鉄別所線電車の存続のための活動を地域課題として、積極的に取り組みます。

③ 緑農ゾーンの整備促進

恵まれた自然環境の保全と穀倉地帯である塩田平の農業基盤の確保を図るため、地域内で組織されている営農活性化組合の充実を図るとともに、一部で組織され活動が始まっている営農組織の法人化を拡大して、効率的な農地利用により収益性の向上に努めます。

また、里山の整備や遊休荒廃農地を解消して、さらに鳥獣害対策を進めます。整備された農地を活用した都市と農村の交流活動を推進して、「食」と「農」を結ぶ「地産地消」や農林業体験施設の整備を進めるとともに、水源涵養（かんよう）をはじめ、森林レクリエーションなどへの対応や観光資源でもある松茸山の保全を含めた森林整備を進めます。

④ 大学・研究施設と地域社会の交流の促進

大学・研究施設が集積している立地条件を生かし、小・中・高・大学、学生、研究機関、地域諸団体との意見交換会の開催や協議会の設置などを通じて、地域社会、地域産業界との連携体制の整備を進めて、地域産業の活性化、安定した就労、誰もが希望を持って定住できるまちづくりを進めます。

周辺の交通アクセスの円滑化を図り、さまざまな分野の人たちが、わがまちの研究施設として集えるような、地域になじみ深い交流拠点づくりに努めます。

⑤ 計画的な土地利用の推進

塩田地域の恵まれた自然環境、田園風景を後世まで残していくために、地域の合意に基づく適切な土地利用計画をもとに、都市的発展を促す区域と農業的に利用する区域を区分して、秩序ある土地利用調整を進めます。

都市的発展を促す区域においては地域資源と景観に配慮した自然と調和のとれた土地利用を進めるとともに、地域住民の暮らしの利便性向上に努めます。

⑥ 健康で文化的な生活を営むまちづくり

地域コミュニティ施設や全面改築された塩田中学校を、住民が自己実現を図ることがで

きる生涯学習や芸術、文化活動のよりどころとして位置付けて、地域住民の主体的活動により、個性ある地域文化の継承と創造を図ります。

また、健康づくりに取り組むことができるよう学校体育施設の開放などスポーツに親しむ施設整備や総合型地域スポーツクラブ設立等の環境づくりを進めます。

⑦ 安心・安全で快適な生活環境の実現

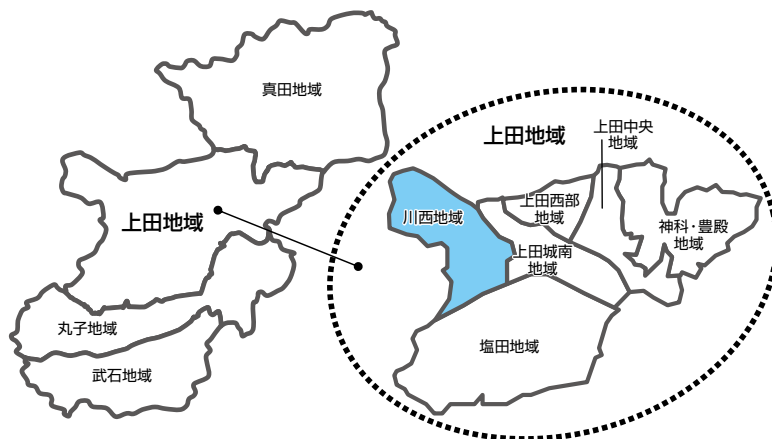
生活道路から通過交通車両をできるだけ少なくするために、都市環状道路を含めた市街地と塩田地域を結ぶ幹線道路網の整備や既存道路の歩道整備を計画的に進めて、安全で快適な地域内交通の実現を目指します。

また、資源リサイクル、環境保全型農業、省資源対策に取り組み、地域特性や景観を生かした農村型エコタウンを創造します。さらに、住民同士が助け合う場をつくるとともに、声掛け運動などを推進しながら災害や防災への対応を早急に進めるほか、地域交通の充実を図る取組を進めて、全ての地域住民が安心して快適に暮らせるまちづくりを目指します。



別所線を走るラッピング電車

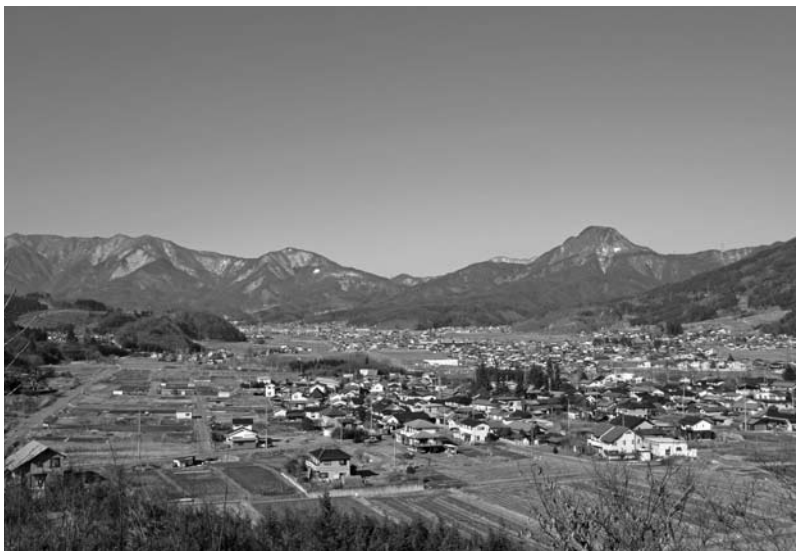
(6)川西地域



ア 地域特性と発展の方向

川西地域は、豊かな自然に包まれた中で、高齢者や子どもなど弱い立場の人を大切にしながら、更に明るく住みよいまちにするため、皆で努力している地域です。

少子高齢化が進む中、今後も森林、河川、田畑に囲まれた美しい風景を守り、だれもが住みやすく、また、住んでみたくなる環境づくりを推進することにより、自然と人との調和がとれ、快適な住環境が整った地域づくりを進めます。



愛宕山から見た川西地域

イ 地域まちづくり方針

①新地域自治センターを拠点とした地域づくりの推進

総合支所、地域づくり、生涯学習の拠点施設である地域自治センターが、川西地域の中央に完成します。すべての住民が気軽に集い、学び、楽しめる、このコミュニティ複合施設を拠点に住民と行政との協働による地域づくりを進めます。

②自然保護活動の推進

恵まれた自然環境を後世に伝えていくため、自然・環境保護団体やボランティア団体等と連携し、水資源の確保・自然災害防止に重要な役割を果たしている山林の保護育成や水辺の環境整備をはじめとする自然保護の取り組みを進めていきます。

③住む人にやさしく快適な環境づくり

この地域は、田畑や山川などの自然が住民生活と深く結びついています。まず、これらを大切にし、生かす取組が必要です。

次に、すべての住民の生活用品の購入や高齢者等の交通手段の確保等、日常生活を送る上での利便性を向上させる必要があります。

また、保健・福祉・医療サービスの充実を図り、防犯組織の整備を進め、地域ぐるみでこれを支えていく体制作りも必要です。

こうした安全・安心で住みよいまちづくりのための仕組作りを進めます。

④農業を主体とした産業の振興

基幹産業である農林業の発展を目指すと同時に、地域の雇用を作り出す商工業の振興も図っていきます。耕作放棄地については、新たな担い手や新作物への転換などで、有効活用を図り、また、鳥獣被害をなくす取り組みを進め、大切な優良農地の保全を図ります。

⑤地域ぐるみでの子育て支援の推進

社会の変化に伴い、子どもたちの生活環境も大きく変化しています。地域の子どもたちを地域で守り育てるため、子育て支援活動に取り組みます。

特に、公民館、自治会、学校、PTA、育成会などの関係団体との連携、高齢者の積極的な参画を核にして、子どもたちの健全育成を進めます。

⑥交流・体験を中心に据えた地域興しの展開

当地域では、都市部の子どもたちとの農山村交流事業を実施しており、軌道に乗りつつあります。

今後、地域の子どもたちも含め、自然とのふれあいや農林業体験事業など事業内容を拡充し、地域全体で活性化に取り組んでいきます。

そのために、誘客活動とともに、さらなる湯を始めとする観光資源の整備や農地の有効活用を進め、また、専門的な分野での協力体制を構築するために、地域で活動する諸団体、活性化組合など各種団体との連携の強化を図っていきます。

⑦災害に強いまちづくりの推進

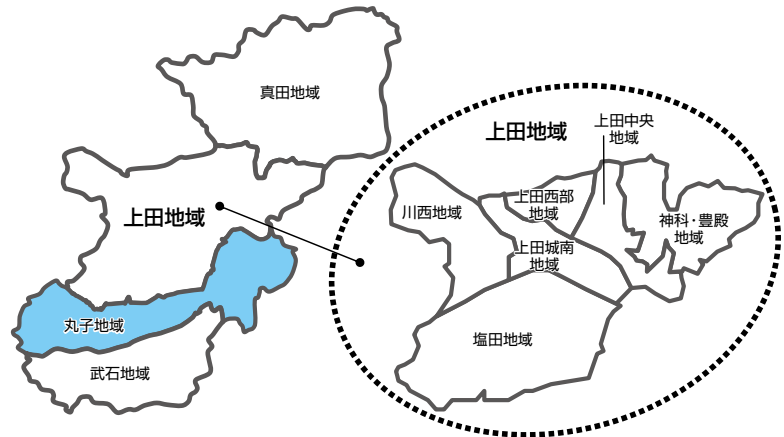
周囲を森林に囲まれ、急な河川や傾斜地が多い地形のため、毎年のように土砂災害に襲われるなど、自然災害は、住民が望む安全な生活に対する大きな脅威となっています。

土砂災害に限らず、あらゆる災害から地域を守るため、行政等関係機関と協力して、災害が起きてからの対応にとどまらず、未然に防ぐための整備についても研究し、自然と環境に配慮した、災害に強いまちづくりを進めます。



千葉市との農山村交流

(7)丸子地域



ア 地域特性と発展の方向

丸子地域は、製造業の集積地として上田市の産業振興に大きく貢献している地域です。地域内に集積している産業資源や技術力を生かし、産業の活性化と雇用を促進することで、これからの上田市の発展を支えていきます。

また、福祉の充実や生活環境の整備によって職住近接のゆとりある生活空間を形成するとともに、丸子温泉郷や豊かな自然・文化を生かすことで、心む健康の里としての機能や、生涯学習の里としての機能を担っていきます。



信州国際音楽村のパノラマステージひびき

イ 地域まちづくり方針

①軽快な交通ネットワークの整備

丸子地域は国道 152 号と国道 254 号が交差する交通の要衝であることから、大型車を含めた通過交通が非常に多く、これによる交通渋滞や事故、騒音などは日常生活や緊急対応の支障となっています。

このため、両国道のバイパスと県道の整備、平井寺トンネルの早期無料化等を国や県に働きかけるとともに、これらに接続する市道中丸子 22 号線など生活道路の交通環境を整えることにより、循環・交流を促進し生活環境の向上と安全で安心して暮らせる賑いのある

まちづくりを目指します。

②健康×観光×自然 = 交流人口の拡大

丸子地域は、山や川の豊かな自然環境に加え、丸子温泉郷など各種の観光資源や、医療機関・クアハウスかけゆを中心とした健康づくり環境に恵まれています。

また、信州国際音楽村周辺においては、住民の創意と工夫のもと四季を通じて楽しめる自然と調和した公園整備が進んでいます。

更に、アメリカ合衆国ブルームフィールド市郡との友好提携やワールドキャンパスインターナショナルの受け入れなどにより、国際

親善の経験と実績が蓄積されています。

そのほかにも、ふるさとに夢と誇りを持ち、コミュニティを活性化させる個性的な地域づくり推進事業が地域内の随所で展開されています。

こうした丸子地域の個性や特性を最大限に生かして、世界を視野に入れながら交流人口の拡大を図り、賑いと交流のまちづくりを推進します。

③新たな産業ブランドの創出

丸子地域では、社会環境の変化に対応した中心市街地活性化の方策として、ファーストビルを中心的拠点施設と位置付け、高齢者の方などに配慮したうえで、商店や地域の諸団体に市が連携して地域のニーズに合わせた対応を進めるとともに、活気に満ちたまちづくりへの支援を進めます。

また、遊休荒廃農地の解消については、農業委員会等と連携した取組を進め、陣場台地の加工用ブドウ畑や農産物直売所の賑いなどに代表される新たな地域ブランドの創造を多角的に促進するとともに、農業・観光・商業の融合により、未来へつながる地域力の向上を目指します。

④生涯学習活動拠点の有効活用

生涯学習の拠点として、丸子公民館、丸子文化会館、図書館や信州国際音楽村など事業の充実を推進します。

新図書館は、生涯学習などの市民活動からビジネス活動支援までさまざまな要望に応えられるよう、図書館機能を充実させるだけでなく、地域に根ざした資料・情報の収集と発信を行うとともに、ボランティア団体との市民協働による運営を図り、そこに集う人々の交流によって生み出されるネットワークを生かしてさまざまな活動を展開し、地域の活性化に取り組みます。

⑤可能性を秘めた雇用と福祉の拠点整備

カネボウ丸子工場跡地は、概ねの土地利用計画が決定し、今後は各施設の建設・整備を進めるとともに、公共交通機関の利便性を向上させることにより、新たな「雇用と福祉」「賑いと憩い」の拠点としての整備を進めます。

更に、各施設を有効活用するとともに、それぞれの施設利用者が相互に利用・交流する

ことで、人々の絆が深まり、賑いと心の交流が生まれる地域づくりを目指します。

⑥未来型産業の振興と起業マインドの育成

地域産業の発展を目指して、新技術の開発や未来型産業への転換、新規企業の誘致及び起業など、創造性とチャレンジ精神に富んだ取組を推進します。

企業誘致を進めるとともに、地域の繁栄を支えてきた「ものづくり」を中心とした工業については、産学官の連携により各種の振興策を展開することや、近隣地域との交流を深めることによる相乗効果などにより、地域のさらなる継続的発展を目指します。

⑦自然環境の保全と人々が共生できる地域づくり

豊かな自然環境に感謝する気持ちを大切にしながら、多様な機能を持つ森林や里山を積極的に整備するとともに、生物の多様性を保全し、人々の心に潤いをもたらす依田川・内村川の水辺周辺は、親水公園の整備やウォーキングロードの利用促進などにより、健康づくりと憩いの場を創出し、活力あふれる地域づくりに取り組みます。

また、次代を担う子どもたちを安心して産み、育てられる環境整備を促進し、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境づくりや、高齢者・障害者が生きがいを持ち安心して暮らせる地域づくり、地域が一体感もてるコミュニティづくりなど、市民との協働により誰もが笑顔で生活できる快適なまちづくりを推進します。



陣場台地のワイン用ブドウ

(8) 真田地域



ア 地域特性と発展の方向

真田地域には、自然環境に恵まれた真田氏発祥の郷としての歴史に培われた数多くの資源と、菅平高原に代表される若者から高齢者まで幅広い世代をひきつけるスポーツリゾートとしての特性があります。地域の豊かな自然環境を活用しながら保全し、大切に後世に伝えるとともに、市全域の大きな枠組みにおいて、これら魅力的な資源と特性を連携させた地域の振興を図り、交流人口の拡大につなげていきます。

また、福祉施設も多く点在し、地域で支えあう福祉活動も盛んに展開されています。今後も生活環境の整備を進め、市街地近郊の魅力ある居住空間の形成を目指すとともに、福祉と健康の里として、住みやすく潤いのあるまちづくりを進めます。



つつじが咲き誇る御屋敷公園

イ 地域まちづくり方針

① 創意と工夫の地域づくりの推進

自然や歴史・文化と調和した真田地域らしさを、新市のもつ多様な個性の一つとして際立ったものにしていくため、住民自治の理解を深め、住民自らの手によって地域の住環境整備を実現する事業を積極的に推進し、地域の連携やふるさと意識の醸成を図ります。

これまで真田地域で行ってきた「地域づくり委員会」を継続発展させ、地域の様々な団

体と連携するなかで、市民との協働による住みやすく潤いのあるふるさとづくりを進めます。

また、災害等緊急時の情報収集方法や伝達手段、地域ネットワークの充実を図りながら高度情報社会に対応した高速情報通信基盤を活用して、生活の利便性の向上、更には観光産業などの振興にも結びつけていきます。

② 魅力ある農業の推進

真田地域の自然環境と調和した農業生産基盤整備を推進し、低コストで生産性の高い農業経営の確立に努め、特産加工品の開発や地域ブランドの確立に取り組み持続的な農業を目指します。また、優良農用地の遊休荒廃地化に歯止めをかけるため、有害鳥獣被害や荒廃が懸念される農地の情報収集に努め、農地の有効活用と集積化を推進します。更に認定農業者の育成強化に努め、後継者や新規就農者の拡大を図ります。加えて小規模農家対策にも努めます。

新たなる取り組みとして、観光産業と連携を図りながら、農業体験やグリーンツーリズムの推進により都市等との交流を積極的に進めるとともに、人と人との絆を大切にする農村文化の伝承に努め、郷土料理の創作など農業の活性化を図ります。

③ 特色ある観光の振興

既存の観光資源の有効活用や整備を積極的に進めます。観光地として地域住民自らが、おもてなしの心を育む活動に取り組み、研修や実践活動を通じ、農村観光のまちづくりを目指します。

上信越高原国立公園に位置し雄大な自然環境に囲まれた菅平高原と四阿高原においては、各種スポーツ合宿や自然体験を中心とした観光振興を進めます。菅平高原では、地元住民自らが策定したスポーツリゾートを核とした「信州菅平高原振興ビジョン」を検討しながら、地域間競争に勝ち抜ける環境整備を進めます。

真田地域においては、真田氏発祥の郷としての歴史を踏まえ、地域の生活・文化などに触れる参加・体験型の観光を進め、産学官民連携による観光地づくりに取り組みます。

④ 地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備

地域の発展のためには、さまざまな分野での交流を促進する基盤となる交通ネットワークの整備が求められています。上信自動車道整備促進や国道144号、406号などの広域幹線道路と日常生活に密着した生活道路の一体的な整備と相互の連携を進めることにより、地域経済の活性化を促進し、交流人口の

拡大を図るとともに魅力ある居住空間の形成を目指します。

なかでも、安全で快適な通勤通学を実現するため、国道144号上野バイパスの建設は地域住民総意の要望となっており、早期整備に向けて積極的に取り組みます。また、住民生活の利便性の向上が図られるよう、公共交通機関の確保・充実に努めます。

⑤ 安心して暮らせる地域づくり

真田地域では、地域や家庭で手と手を取り合う地域ぐるみの福祉を推進し、健康と福祉のまちづくりに取り組んできています。

少子高齢社会を迎え、求められる地域医療体制の充実、安心して子育てができる環境整備や地域みんなで支え合う保健・医療・福祉・教育・防災体制の確立に努めるとともに、各分野の相互連携を図り、地域住民の誰もが将来にわたり健康で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

⑥ 地域に根ざした生涯学習と生涯スポーツの促進

世代を超えた多くの人たちが参加できる身近な芸術・文化活動や主体的な創造活動によって地域文化を高めるため、図書館や公民館を核として住民自らが学ぶ生涯学習の環境づくりを積極的に推進していきます。

また、生涯を通じて健康で豊かな日々を過ごすため、誰もが自分に合ったスポーツに親しむことができる環境整備に取り組みます。



菅平高原と根子岳・四阿山

(9) 武石地域



ア 地域特性と発展の方向

美ヶ原高原と、そこに連なる雄大な自然に抱かれた武石地域は、心安らぐ田園風景を大切な財産としながら、長い間はぐんできた地域の連帯と細やかな住民福祉を大切にしてきました。

恵まれた自然と安らかで豊かな生活を守り育て、それらかけがえの無い環境を生かした事業を展開し、将来にわたって、住んでよかった、訪れてよかったと実感できる地域づくりを進めます。



美ヶ原高原

イ 地域まちづくり方針

① 住みよい地域づくりの推進と地域情報化の展開

武石地域は、上田市の中で少子・高齢化が最も進む地域であり、定住人口の増加は地域の大きな課題です。若者定住施策や子育て支援施策・デマンド交通など、武石地域の特色ある事業を充実し、あわせてUターン・Iターンを支援します。

長年にわたり培ってきたコミュニティ活動を大切に維持・発展させるとともに、自主的な活動を展開する地域づくり団体の育成を図り、それらの団体と協働して安全で魅力的な地域づくりに取り組んでいきます。地域づくりの指針として、平成22年に地域協議会が提案した武石地域全域公園化構想の実現に努めます。

また、地域内分権やコミュニティの維持・発展のために重要な地域自治センターやコミュニティ活動拠点施設の整備を図り、あわせて身近な地域情報システムの整備や、情報化社会に対応した基盤整備を図ります。

② 地域をつなぐ道路交通網の整備

武石地域に居住し他地域に通勤通学する市民は多く、武石から丸子・上田市街をはじめとする他地域への道路交通網の整備は、最も住民要望の強い課題です。特に武石地域と丸子地域境を走る国道は、迂回路が遠いことから災害時の渋滞が懸念されます。

交通の利便と時間的距離の短縮、災害対策は武石地域だけでなくエリアを越えた課題であるため、地域内の生活道路の整備を図ると

ともに、市内他地域や近隣市町村と連携を深めながら整備を推進していきます。

③魅力ある農林業の創出と商工業の振興

専業農家の数は減少したものの、市内でも有数の畜産をはじめ、野菜、米、花卉等の農業生産は武石地域の住民生活に大きく影響しています。

それを踏まえ、地域の特色である農作業受託組織や地域営農組織・担い手農家・地産地消推進団体などを支援・育成し、魅力あふれる農林業を創出していきます。また、農地や森林や水資源の保全・育成を図り、獣害や松くい虫被害を防止して、祖先から引き継がれた武石の田園と森と清らかな水を守ります。

さらに、地域の活性化に大きな役割を果たしている商工団体等を通じて、生活に密着した商工業を振興し、活力ある地域の創造を図るとともに、農商工連携による特産品の開発等新たな経済活動を推進します。

④都市・農村交流と広域的な観光の展開

豊かな自然、観光資源を生かして地域の活性化を図ります。

友好提携が新市に引き継がれた東京都練馬区との交流を拡大するとともに、都市生活者を対象とした農業体験や自然体験、スポーツ・レクリエーションの提供による観光の充実を図ります。

また、高山植物の保全、再生の研究や、高原を拠点としたイベントの開催など、松本市や長和町とも連携して美ヶ原高原の魅力を発信し誘客に努めます。

さらに、広域観光を実現するための関係幹線道路の整備を促進し、上田・丸子・真田地域の観光資源と有機的に結びつけた観光事業を展開します。

⑤地域に根ざした医療・保健・福祉・介護の充実

武石地域は、診療所・健康センター・地域包括支援センター・デイサービスセンター・社会就労センターなど、医療・保健・福祉・介護が一体となった潤いと温かみのある地域づくりを進めてきました。

今後も地域に根ざしたきめ細かいサービスを提供するため関係機関の充実と連携を図りながら、在宅医療・福祉のかなめである武石

診療所と、地域の二次医療と救急医療の役割を担う依田窪病院の充実を図り、安心して暮らせる地域の実現を目指します。

⑥地域の特性を生かした教育の推進と体育・スポーツの振興

人生の質を高める生涯学習・生涯スポーツの充実に努めます。

自然や伝統・文化に学び、そこに暮らす人々を大切に思い、自らと地域に誇りを持ち、未来に受け継いでいく機運を高めます。そのために、環境教育や食育、伝統や文化財など地域を教材にした教育、自然体験教育などを幅広く実践します。

また、地域に定着している体育・スポーツ活動の振興を図るため、関係団体や行事を支援し、体育・スポーツに親しむ市民の拡大を図り、生涯スポーツの充実と健康増進に努めます。

⑦明日を担う子供たちの教育施設、子育て支援施設の整備と運営

子育て支援と放課後児童対策を中心とした拠点施設の整備は、通学エリアが広範で児童とその親の交流が生まれにくい武石地域の大きな課題です。そのため、地域特性を考慮し、年齢や家族状況にとらわれない児童対策やニーズに合わせて設備や運営、活用についても関係機関や団体と協議しながら充実させていきます。

また、地域の明日を担う子ども達に最適な教育環境を提供するため、関係施設の整備を進めていきます。



余里地区の花桃